

【全般的な注意】

- ・本製品は、体外診断用医薬品であり、指定された目的以外には使用しないで下さい。
- ・診断は他の関連する検査結果や臨床症状に基づいて総合的に行って下さい。
- ・本電子添文において示された以外の使用方法については保証を致しません。
- ・使用する機器及び試薬の電子添文又は取扱説明書をよく読んでから使用して下さい。
- ・構成試薬（発光試薬A*）は、アジ化ナトリウム（0.01%）及び四ホウ酸ナトリウム（1.4%）を含み、構成試薬（発光試薬B*）は、アジ化ナトリウム（0.005%）を含むので、誤って目や口に入ったり、皮膚に付着した場合には水で十分に洗い流すこと等の応急処置を行い、必要があれば医師の手当て等を受けて下さい。また、アジ化ナトリウムは、金属アジ化物を形成するので、廃棄に際しては十分な水で洗い流して下さい。
- ・本製品には、ProClin200が含まれています。アレルギー反応や過敏反応を引き起こす可能性がありますので、皮膚との接触を避け、適切な手袋を着用して下さい。
- ・本製品及び本製品と共に使用されるキャリブレーター1～3*は、ヒト血液を原料として調製されています。原料血液は、HBs抗原、HIV1抗体、HIV2抗体及びHCV抗体検査を行い、陰性の結果を得ています。しかし、現在のところ感染性を完全に否定できる検査法はないので、感染の危険性があるものとして取り扱って下さい。

*：専用の別売品

【形状・構造等（キットの構成）】

- 1) 試薬パック
 - (1) リガンドウェル
ストレプトアビジン
 - (2) コンジュゲート
ホースラディッシュペルオキシダーゼ標識コルチゾール
 - (3) アッセイ試薬
ビオチン化抗コルチゾールヒツジポリクローナル抗体
- 2) ビトロス発光試薬A、B（専用の別売品）
 - (1) ビトロス発光試薬A
3-アミノフタルヒドラジンナトリウム
 - (2) ビトロス発光試薬B

【使用目的】

血清又は血漿中のコルチゾールの測定

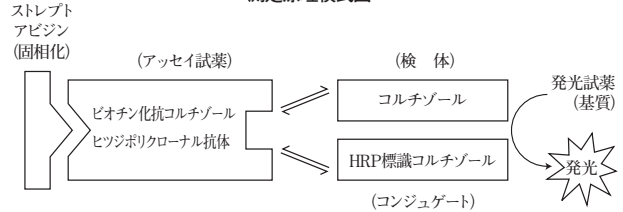
【測定項目について】

コルチゾールは、副腎皮質で産生され、糖新生の促進、脂質代謝の調節及び抗炎症作用等の生理作用を有するステロイドホルモンであり、その血中濃度は、下垂体から分泌される副腎皮質刺激ホルモン（ACTH）により調節され、さらにACTHの分泌は視床下部から分泌される副腎皮質刺激ホルモン放出因子（CRF）に支配されています。従って、血中コルチゾール濃度測定は、視床下部－下垂体－副腎皮質系の機能検査に有用です。¹⁾

【測定原理】

ビトロス コルチゾールは血清又は血漿中のコルチゾール量を酵素活性の測定に免疫化学発光を応用したEIA法（エンハンスドケミルミネセンスエンザイムイムノアッセイ：CLEIA）により直接測定するキットです。CLEIAはペルオキシダーゼを触媒としてルミノールを酸化させ、同時に電子伝達物質（置換されたアセトアニリド）の使用により発光量及び発光時間を増大させます。²⁾ 本製品は、臨床化学自動分析装置用の試薬です。ビトロス コルチゾールは、競合反応の原理に基づくキットです。本製品は、リガンドウェルに検体、コンジュゲート及びアッセイ試薬を分注することにより、リガンドウェル上に固相化されたストレプトアビジンとアッセイ試薬中のビオチン化抗コルチゾールヒツジポリクローナル抗体が結合します。更に検体中のコルチゾールとコンジュゲート中のホースラディッシュペルオキシダーゼ（HRP）標識コルチゾールがビオチン化抗コルチゾールヒツジポリクローナル抗体に対して競合的に反応します。非結合物を洗浄試薬*により洗い流します。これに、基質（発光試薬*）を加えて発光させ、その発光量を臨床化学自動分析装置で読み取ります。検体中のコルチゾール量は、発光量（ウェル中に結合した酵素（HRP）量）に反比例します。検体中のコルチゾールの測定は、コルチゾール既知濃度のキャリブレーター*により補正した標準曲線より求めます。

測定原理模式図



【操作上の注意】

- 1) 測定試料の性質、採取法
 - ・血清又は血漿（EDTAまたはヘパリン）を用いて下さい。25 μ Lを得るのに必要な血液を採取し、血清又は血漿を分離して下さい。³⁾ 分離した検体は、2～8℃で5日間、－20℃で4週間保存可能です。凍結・融解の繰り返しは避けて下さい。溶血検体は使用しないで下さい。
 - 2) 妨害物質・妨害薬剤
 - ・溶血検体、黄疸検体、高脂検体及び混濁した検体は使用しないで下さい。
 - ・血清又は血漿中のヘテロフィリック抗体は、全ての抗原・抗体反応に干渉する恐れがあります。⁴⁾ この抗体は、動物又は動物由来製品を取り扱うヒトの血液中に存在する可能性があります。臨床症状に見合わない測定値が得られた場合は、追加試験で確認して下さい。
- * ビトロスコルチゾールはCLSI文書EP7に従って干渉に対する評価が行われています⁵⁾。複数ロットの試薬を使用して一般的な化合物について評価を行った結果、以下の誤差を生じました。また、健康人の母集団で観察された濃度⁶⁾よりも高いビオチン濃度においては、以下の誤差を生じました。

妨害物質	妨害物質の濃度	検体濃度* nmol/L	誤差** nmol/L	検体濃度* μ g/dL	誤差** μ g/dL
ヘモグロビン	0.062mmol/L	100mg/dL	310	25	11.2
	0.310mmol/L	500mg/dL	310	136	11.2
ビオチン	205nmol/L	50ng/mL	142	11	5.1
			855	122	31.0
	409nmol/L	100ng/mL***	142	746	5.1
			855	845	31.0

* 複数ロットの試薬を使用して測定した平均値

** 平均誤差

***100ng/mLのビオチン濃度は、10mg/日のビオチンの用量に相当します⁷⁾。これらの結果は代表的なものであり、表に示した以外の濃度における妨害物質の影響を予測することはできません。他の妨害物質が存在する可能性があります。1日あたり最大300mcg (μ g) のビオチンを含むマルチビタミンを摂取した患者においては、検体中のビオチンが干渉することはないと考えられています⁸⁾。高濃度のサプリメントを摂取している患者またはビオチンによる治療を受けている患者においては、検体中のビオチンが干渉する可能性があります¹⁰⁾。

* 干渉物質

ビトロスコルチゾールはCLSI文書EP7⁵⁾に従って干渉に対する評価が行われています。コルチゾール濃度で241～288nmol/L (8.74～10.4 μ g/dL) の検体で行った検査では、検査対象化合物の中には10%を超える誤差を引き起こすものはありませんでした。

化合物	濃度	
アジ化物	1.5mmol/L	20mg/dL
ビリルビン	1.71mmol/L	100mg/dL
トリオレイン	33.9mmol/L	3000mg/dL
ジブロン	3.00mmol/L	100mg/dL
イントラリビッド*	600mg/dL	6g/L

* イントラリビッドは、コルチゾール濃度20nmol/L (0.73 μ g/dL) および675nmol/L (24.5 μ g/dL) で評価を行いました。

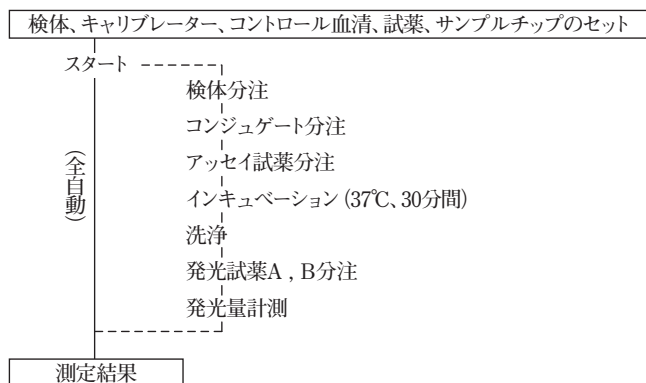
3) その他

- ・検体、キャリブレーター1～3*、コントロール血清は、使用前によく混和し、15～30℃に戻してから使用して下さい。
- ・本製品の測定範囲上限（1,700 nmol/L）を超えた検体は、弊社にて供給している試薬（ビトロス希釈血清試薬パックB*又はビトロス希釈血清B*）を用いて希釈し、再度測定を行うことが可能です。なお、希釈倍率は2倍以内にして下さい。
- ・破損している又は封入が不完全など、目視により損傷が認められる場合は使用しないで下さい。

【用法・用量（操作方法）】

- 1) 試薬の調製方法
 - ・試薬パックは、調製済みです。開封後は、システム上か、密封した試薬パック保存箱に乾燥剤を入れて、2～8℃に保存して下さい。システム上の保存可能期間はビトロスECi及びECiQの場合8週間、ビトロス3600及び5600の場合7週間です。（但し、使用期限内）
 - ・発光試薬A,B*は調製済みです。使用可能量はアッセイのワークフローによって異なり、1セットで最大210ウェルの使用が可能です。
 - ・発光試薬A,B*は臨床化学自動分析装置にローディング後、7日間使用可能です。
- 2) 必要な器具・器材・試料等
 - ・臨床化学自動分析装置
 - ・ピペット及びピペットチップ
 - ・コントロール血清：本キットの精度管理用として弊社より供給されているコントロール血清：ビトロス コルチゾール コントロール（別売）を使用することをお勧めします。
 - ・ビトロス希釈血清試薬パックB*又はビトロス希釈血清B*
 - ・ビトロス コルチゾールキャリブレーター1～3*
 - ・ビトロス洗浄試薬*
- 3) 測定（操作）法
 - ・臨床化学自動分析装置を使用します。
 - ・このキットによる測定に必要な関連試薬を準備して下さい。
 - ・検体及びキャリブレーター*、コントロール血清の最少必要量は、使用する容器によって異なります。詳細については使用される測定装置の取扱説明書を参照して下さい。
 - ・測定に先立ってキャリブレーションを実施して下さい。
 - ・本製品はロット変更時及び28日間ごとには、必ずキャリブレーションして下さい。
 - ・臨床化学自動分析装置操作の詳細については、使用される装置の取扱説明書を参照して下さい。
 - ・準備事項を確認後、スタートボタンを押すと臨床化学自動分析装置内で測定が開始され、全自動で測定結果が得られます。

測定概略



【測定結果の判定法】

参考基準範囲
 4.46～22.7 $\mu\text{g}/100\text{mL}$ （午前中：10時以前）
 1.67～14.1 $\mu\text{g}/100\text{mL}$ （午後5時以降）
 種々の要因により変動するので、あらかじめ各施設で設定することをお勧めします。

【性能】

- 1) 性能
 - (1) 感度
 - ・社内参照キャリブレーターを測定するとき、コルチゾール濃度90nmol/Lとコルチゾール濃度110nmol/Lの光度の差は、コルチゾール濃度90nmol/Lの光度を1とすると、0.05～0.999の範囲内にあります。
 - ・社内参照キャリブレーターを測定するとき、コルチゾール濃度225nmol/Lとコルチゾール濃度275nmol/Lの光度の差は、コルチゾール濃度225nmol/Lの光度を1とすると、0.056～0.999の範囲内にあります。
 - (2) 正確性
 - ・既知濃度の管理用検体を測定するとき、既知濃度の $\pm 18\%$ 以内にあります。
 - (3) 同時再現性
 - ・同一検体を4回以上同時に測定するとき、測定値のCV値は、10%以下です。¹¹⁾
 - (4) 測定範囲
 - ・測定範囲は、4.39～1,700 nmol/Lです。
 - ・ $(0.16 \sim 61.6 \mu\text{g}/100\text{mL})$ 換算式： $\mu\text{g}/100\text{mL} = \text{nmol}/\text{L} \times 0.03625$
 - (5) 校正用の基準物質（標準物質）
 - ・IRMM (ERM-DA192, 193)

【使用上又は取扱い上の注意】

- 1) 取扱い上（危険防止）の注意
 - ・本製品及び本製品と共に使用されるキャリブレーター1～3*は、ヒト血液を原料として調製されています。原料血液は、HBs抗原、HIV1抗体、HIV2抗体及びHCV抗体検査を行い、陰性の結果を得ています。しかし、現在のところ感染性を完全に否定できる検査法はないので、感染の危険性があるものとして取り扱って下さい。
 - ・構成試薬（発光試薬A*）は、アジ化ナトリウム（0.01%）及び四ホウ酸ナトリウム（1.4%）を含み、構成試薬（発光試薬B*）は、アジ化ナトリウム（0.005%）を含むので、誤って目や口に入ったり、皮膚に付着した場合には水で十分に洗い流すこと等の応急処置を行い、必要があれば医師の手当て等を受けて下さい。
 - ・本製品には、ProClin200が含まれています。アレルギー反応や過敏反応を引き起こす可能性がありますので、皮膚との接触を避け、適切な手袋を着用して下さい。
 - ・身体の汚染防止のため、作業室内ではゴム手袋、専用の実験衣、安全メガネを着用して下さい。
 - ・作業室内では、飲食・喫煙はしないで下さい。又ピペットを口で吸わないで下さい。
- 2) 使用上の注意
 - ・使用期限を過ぎた試薬類は使用しないで下さい。
 - ・作業室内全体の十分な換気をお勧めします。
 - ・試薬パック中の試薬が泡立っていると、キャリブレーションが実行できなかったり誤った結果を示す恐れがあるので、試薬パックには、転倒、落下、振動等の衝撃を与えないように取り扱って下さい。もし、転倒、落下してしまった場合、コントロール血清で確認してから使用して下さい。
 - ・試薬パックとキャリブレーター*は同一ロットを使用して下さい。
 - ・開封後の試薬パックは、2～8℃に保存して下さい。8℃以上に放置する時間は最小限にして下さい。
 - ・キャリブレーター1～3*は、使用後はただちに2～8℃に戻すか、必要量のみを分注して使用して下さい。
- 3) 廃棄上の注意
 - ・不要な検体、ヒト由来の試薬、測定済み試薬、廃液及び汚染されたチップ類は、感染の危険性があるものとして適切な滅菌処理を行った後、廃棄して下さい。（例：殺菌剤処理（次亜塩素酸ナトリウム液（有効塩素濃度1,000ppm以上）または2%グルタルアルデヒド液、1時間以上）またはオートクレーブ滅菌処理（121℃、20分以上））
 - ・構成試薬（発光試薬A*）は、アジ化ナトリウム（0.01%）及び四ホウ酸ナトリウム（1.4%）を含み、構成試薬（発光試薬B*）は、アジ化ナトリウム（0.005%）を含みます。アジ化ナトリウムは金属アジ化物を形成するので、廃棄に際しては十分な水で洗い流して下さい。

【貯蔵方法・有効期間】

- 1) 貯蔵方法
 - ・凍結及び直射日光を避け、2～8℃で保存して下さい。

- 2) 有効期間
 - ・キットの有効期間：6カ月（26週）
 - ・構成試薬ごとの貯蔵方法及び有効期間は以下の通りです。

構成試薬	貯蔵方法	有効期間
試薬パック		
(1) リガンドウェル	2～8℃	1年
(2) コンジュゲート	2～8℃	1年
(3) アッセイ試薬	2～8℃	1年
ビトロス発光試薬A, B		
(4) 発光試薬A	2～8℃	6ヵ月
(5) 発光試薬B	2～8℃	6ヵ月

使用期限は、製品に表示しております。

【包装単位】

製品コード	製品名	包装
058318	ビトロス コルチゾール試薬パック	100テスト
製品コード	製品名	包装
068010	ビトロス発光試薬A, B	各2本（各28mL）

【主要文献】

1. James VHT, Landon J(eds) : Recent Advances in Endocrinology. ed. 8. 50-94, 1968
2. Summers M et al. : Clin. Chem. 41, S73, 1995
3. Calam RR : Specimen Processing Separator Gels. : J. Clin. Immunoassay. 11, 86-90, 1988
4. Levinson SS. : J. Clin. Immunoassay. 15, 108-115, 1992
- *5. Clinical and Laboratory Standards Institute (CLSI). Interference Testing in Clinical Chemistry; Approved Guideline, Second Edition. CLSI document EP07-A2. Wayne, PA: CLSI; 2005.
- *6. Livaniou E, et al.: Serum biotin levels in patients undergoing chronic hemodialysis. Nephron. 1987; 46(3):331-2.
- *7. Paul Grimsey et al.: Population pharmacokinetics of exogenous biotin and the relationship between biotin serum levels and in vitro immunoassay interference. International Journal of Pharmacokinetics. 2017; 2 (4): 247-56.

- * 8. European Commission Scientific Committee on Food: Opinion of the Scientific Committee on Food on the Tolerable Upper Intake Level of Biotin (expressed on 26 September 2001). Rue de la Loi 200, B-1049 Bruxelles/Wetstraat 200, B-1049 Brussels-Belgium.
- * 9. Mock and Mock: Serum concentrations of bisnorbiotin and biotin sulfoxide increase during both acute and chronic biotin supplementation J Lab Clin Med 1997;129:384-8.
- * 10. Marcelo C. Batista: Biotin interference in immunoassays mimicking subclinical Graves' disease and hyperestrogenism: a case series. Clin Chem Lab Med. 2017 May 1;55(6):e99-e103.
- 11. National Committee for Clinical Laboratory Standards document EP5-A2(ISBN 1-56238-542-9), 2004

****【 問い合わせ先 】**

オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社
お客様サポートセンターTel.0120-03-6527
〒104-0053 東京都中央区晴海二丁目1番40号
晴海プライムスクエア

****【 製造販売元 】**

オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社
お客様サポートセンターTel.0120-03-6527
〒104-0053 東京都中央区晴海二丁目1番40号
晴海プライムスクエア